

キッザニア甲子園 [KCJ GROUP(株)]

西宮市甲子園八番町1-100 ☎0798-81-0182

子ども向けの職業体験施設「キッザニア甲子園」(西宮市)などを運営する。リアルに再現された街並みの中で仕事体験すると、施設内の専用通貨が給料としてもらえるなど経済の仕組みも学ぶことができる。

- 設立(創業)/2004年
- 資本金/2億5,200万円
- 売上高/非公開
- 従業員数/2,123名
- 平均年齢/29歳

キッザニアで職業観養う

— **どんな施設なのか。**「メキシコの会社が開発し、世界21カ国に28施設があります。日本では2006年に東京で開設。甲子園は09年に開業しました」

「街には約3分の2の大きさの店舗や工場が約60あり、すし職人や飛行機のパイロットなど約100種類の仕事が体験できます。単なる体験でなく、社会の仕組みや働く意味を学び、職業観を育ててもらおうと考えています」

— **来場者数は。**「現在は年間約75万人で年50回以上来るリピーターも。英語しか話せない日や中学生だけが対象の時間帯も設けています。キャリア教育の一環で、中学校の授業にも組み込まれています。年間約1250校・団体が来場しますが、もっと増やしていくつもりです」

「子どもの頃に職業体験をした人が、その企業の内定をもらった事例が出てきました。スポンサー企業から、体験した子がアルバイトに来てくれるといった声も聞きます。体験が実際の職業につながり始めた感慨を覚えます」

— **地域との交流は。**「新潟・三条市で、かじ職人の仕事を体験するなど、施設の外との交流を数年前から始めました。兵庫県内の地場産業とも同じ取り組みを検討中で、1、2年の間に実現できればと考えています」

— **求める人材は。**「子どもが好きで、コミュニケーション能力があり、いろんな角度で物事を見られる人がいいですね」(まとも・塩津あかね)



KCJ GROUPの能勢幸次専務執行役員(右)に取材する甲南女子大3年の發(はり)千紘さん

甲南女子大学
發 千紘さん

Check
学生が
チェック!

キッザニアは“子ども・保護者・学校教育・世界・地域・スポンサー”との「ツナガリ」を大切にされている会社である。職業を体験し学校だけでは学べない力を子どもたちにつけて欲しいという熱い思いが感じられた。

(有)三晃商事 夢乃井

姫路市夢前町前之庄187 ☎079-336-1000

播磨地域で半世紀以上、旅館業を営む。5年前に京都に進出。今春には、赤穂市で古民家を改築した新旅館を開業した。若年層の旅館離れが叫ばれる中、地域と連携した宿泊施設の在り方を模索する。

- 設立(創業)／1954年
- 資本金／3,000万円
- 売上高／19億6,800万円(2017年2月期)
18億9,300万円(2018年2月期)
19億6,400万円(2019年2月期)
- 従業員数／270名
- 平均年齢／39.3歳

街を楽しむ宿泊、播磨で模索

— 旅館業界の現状は。「人口減などの影響で、国内の旅行需要は縮小しています。訪日外国人客は増えていますが、播磨に宿泊する人は少ない。若年層の旅館離れも顕著です。情報発信の強化、価値観の不一致を解消してサービス内容を見直すことが課題です」

— 客のニーズの変化にどう対応してきたか。

「姫路市夢前町出身の祖父が56年前、塩田温泉で旅館『夢乃井』を始めました。約20年前から会社単位などでの利用が減り、個人客中心に。そこで夢乃井の一角にハイクラス旅館『タやけこやけ』を建てました。全17室に露天風呂を完備し、利用は1室2人限定。ゆっくりしてもらえます」

— 5月、赤穂に「**加里屋旅館Q**」を開業した。「町家を改装した新コンセプトの旅館です。客室は和風ですが新しさも感じられ、居心地の良さを追求しました。ただ決して広くはなく、温泉もない。食事は原則として朝食のみとし、

宿泊客には外に出掛けることを勧めています。街の歴史や人に触れ、食を楽しんでほしい。その分、宿泊料金を下げています」

— 新ブランド「Q」の戦略は。「地域を紹介し、地域と連携して、旅館で過ごす一夜の魅力を最大化することを目的にしています。宍粟市でも1軒開業します。古民家の再生を通じ、新しいビジネスモデルを構築したいですね」(まとめ・三島大一郎)



吉井祥二常務(右)に話を聞く関西学院大3年の峯島基さん

Check
学生が
チェック!

関西学院大学
峯島 基さん

「奉仕とおもてなしの最高峰」というビジョンを掲げ、地域やお客様への貢献を第一に考えている。新しくオープンした加里屋旅館Qが姫路、赤穂の発展にどのように関わっていくのか、今後に注目したい。

ジィ・アンド・ジィ(株)

神戸市中央区磯上通4-1-6 シオノギ神戸ビル2階 ☎078-222-1041

👑成長期待企業
👑えるぼし認定企業

「ITと旅行」という異色の組み合わせを掲げるシステム会社。地元企業の経営を支えるソフトウェアの開発と、大手旅行代理店JTBの総合提携店運営が事業の柱だ。

- 設立(創業)／1978年
- 資本金／1,000万円
- 売上高／23億6,800万円(2017年3月期)
24億7,500万円(2018年3月期)
27億7,800万円(2019年3月期)
- 従業員数／67名
- 平均年齢／41.9歳

「ITと旅行」、異色の2本柱

— 沿革を教えてください。「もとは家電量販の星電社が1980年に立ち上げたシステム開発部門。当時は、オフィスコンピュータの販売と、付随するソフトを開発していました。転機は、店舗や事務所が壊滅的な被害を受けた95年の阪神・淡路大震災。経営再建を進める中、78年設立の星電社の休眠子会社に同部門が移り、社員で全株式を買い取って独立しました。社名は『Gaia(ガイア) & Graffiti(グラフィティ)』の略。取引先や世の中の役に立つ仕事をして、『大地に足跡を残そう』という意味が込められているんですよ」



竹中睦芳社長(左)に話を聞く関西大3年の土佐弘人さん

社名は『Gaia(ガイア) & Graffiti(グラフィティ)』の略。取引先や世の中の役に立つ仕事をして、『大地に足跡を残そう』という意味が込められているんですよ」

— なぜ旅行業を。「旅行部門も一緒に独立したことがきっかけです。最大のメリットは財務面。システム開発は納品まで数年かかることがあり、資金繰りに苦労する。しかし旅行事業で常に現金収入があるため、無借金経営を実現できているのです」

— IT事業の強みは。「販売管理システムの構築が得意で、卸売りや小売り関連の企業から引き合いが多い。自動車教習所や医師会事務局など、大手が参入できないニッチ市場向けのパッケージソフトも好調です。営業、設計、開発、保守、といった一連の体制があるからこそできるワンストップサービスだと自負しています」

— 求める人材は? 「実はIT事業部の75%が文系。入社してから知識や技術を身につけてもらっています。やる気に満ちた前向きな力に期待します」(まとめ・中務庸子)

Check
学生が
チェック!

関西大学

土佐 弘人さん

「お客様51:自社49のパートナーシップ」の理念から、プロの視点で顧客に寄り添い、要望をかなえるということを掲げている。この理念をもとに顧客満足を高め、顧客との信用を築き上げており、同社の誠実な姿勢に感銘を受けた。

プラスチック製の工業用、農業用タンクなどを半世紀にわたり生産。金型に原料を入れて回転しながら加熱・溶融し、金型内部に付着させて製品を成形する「回転成形」の技術を持つ国内有数の企業だ。

- 設立(創業)／1963年
- 資本金／4,800万円
- 売上高／33億 860万円(2017年8月期)
38億5,100万円(2018年8月期)
37億6,000万円(2019年8月期)
- 従業員数／140名
- 平均年齢／40歳

タンク半世紀、遊具で生かす

― 会社の歴史は。「当初はプール浄化装置や噴水を販売、広島平和公園の大噴水施工にも携わりました。しかし、噴水の需要は小さくなく撤退。海外の回転成形技術を商社に紹介され、当時珍しかったプラスチックに着目して導入しました。軽くて丈夫なオレンジ色の液体運搬用タンクが受け、農家の水やり用で伸びました」



横山俊介取締役(右)に話を聞く兵庫県立大3年の小森菜々子さん

― 全国に工場を構える。「北海道や九州にもあります。タンクを運ぶのは空気を運ぶようなもの。運送費が割に合わず、お客様の近くに工場を構えるのが理想です。阪神・淡路大震災や北海道、熊本の地震を経験。被災地に飲み水やトイレの水を運ぶため、当社の製品が役に立ちました」

― なぜ遊具に参入。「北米では回転成形品全体の20%が遊具。海外の大きな市場をみて、日本でもと考えました。公園や幼稚園・保育園、商業施設の室内用などを狙っています」

Check 学生が チェック!

兵庫県立大学

小森菜々子さん

回転成形の過程を実際に見て、手作業の多い丁寧なモノづくりに感動した。職場はアットホームな雰囲気です。スイコー製品を大切にしているのが伝わってきた。国内生産のPE遊具という新規市場での活躍、スイコーランドの実現に注目したい。

― 遊具の現状と目標は。「国内向けに滑り台と、壁を上のロトウォールで年間約1千台を出荷し、売り上げは相手先ブランドによる生産(OEM)も含めて約1億円。売り上げを5年で3倍に伸ばすのが目標です。米国や中国製品に比べて納期が半分で、品質も良い。海外品が大半を占めるポリエチレン製などの遊具を置き換えたいと考えています」(まとめ・大島光貴)

神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート10S-04 ☎078-846-4401

一戸建て住宅のフェンスや門扉、テラス、カーポート、ウッドデッキなど「エクステリア」を施工込みでインターネットショップを通じ販売している。「早くて安く、安心」と評判を呼び、今年3月期の売上高は104億9,600万円に上った。

- 設立(創業)/2000年
- 資本金/9,946万円
- 売上高/ 73億8,000万円(2017年3月期)
91億6,000万円(2018年3月期)
104億9,600万円(2019年3月期)
- 従業員数/193名
- 平均年齢/30.1歳

庭回り施工 ネットで実績

一 エクステリアのネット販売実績は設立以来、業界トップを維持する。「家を建てるのに精いっぱい、庭回りまで手が回らない例は多い。独自の仕入れルートを確認し、中間マージンを浮かせて低価格を実現します。品ぞろえは、大手メーカーや自社ブランドなど約7千点を超え、全国の約700に上る提携店が施工しています」



デジアラホールディングスの有本武司社長(左)に話を聞く関西学院大3年の佐々木綾香さん

一 販売の仕組みは。「申し込みを受け、現地で採寸や施工方法のヒアリングをし、無料で見積もりを出します。発注してもらえたら、日程調整して施工します。代金は完了後の後払い制。施工数は伸び、累計10万件余りを数えます」

一 支持される理由は。「顧客と向き合う姿勢でしょうか。実績のあるスタッフが親身に対応し、喜びの声は社内でも共有します。家の外観、家族の状況に応じた商品をパッケージ化して提案する事業にも力を入れています」

Check
学生が
チェック!

関西学院大学

佐々木綾香さん

若手・女性社員が多い。インターネットを通じた、エクステリア商品の販売を始めたパイオニアでもある。安さと早さ、そして安心・安全を提供し続け、19年連続売上1位を維持。社員が明るく、訪問した際にも楽しい雰囲気です。

一 課題や目標は。「施工に熟練した職人を確保したい。少子高齢化が進んでも家は必要で、1軒当たりの庭はむしろ広がるかもしれませんが、庭造りをサポートする店舗『ガーデンプラス』は直営4、フランチャイズが20カ所ありますが、数年で50カ所に増やすつもりです」

一 求める人材は。「素直な人は、伸びしろが大きい。当社はまだまだチャレンジが必要で、一緒に成長したいですね」(まとめ・佐伯竜一)

日本テクノロジーソリューション(株)

神戸市中央区港島南町7-2-8 ☎078-304-4439

食品や化粧品、医薬品容器に商品名などが書かれたフィルムを包装する機械を製造し、高いシェアを誇る。約10年前からはテレビ番組の企画・制作にも当たり、「包装」と「放送」を両立する。

- 設立(創業)/1976年
- 資本金/5,000万円
- 売上高/6億円 (2016年9月期)
5億4,000万円(2017年9月期)
6億9,000万円(2018年9月期)
- 従業員数/41名
- 平均年齢/33歳

包装機械で成長、番組制作も

— 違う事業をしていた。「社長だった父が急死した1999年、30歳で社長に。当時の売り上げはブラウン管テレビの検査機がほぼ全て。液晶やプラズマの技術が確立され、ブラウン管はなくなりました。液晶やプラズマの検査機も受注したものの、海外製品との競争で価格は3分の1に。ディスプレイ事業から手を引くと決めました」



岡田耕治社長(右)に話を聞く神戸学院大3年の長沼優子さん

— なぜ包装機械に。「市場が広い店頭の商品に着目。商品の「顔」で売り上げを左右する包装の機械なら付加価値が高いと考え、2001年に発売したのが『トルネード』です。熱風を4方向から回転させて当ててフィルムがしわなく収縮し、どんな形の容器でも美しく仕上がります。食品会社などに営業し、フィルムや容器メーカーが使わざるを得ない状況をつくれた。700台以上販売し、同機を使って包装した商品のないコンビニやドラッグストアはないほどです」

神戸学院大学

長沼 優子さん

Check
学生が
チェック!

包装事業という身近にありつつも知らなかったことをたくさん教えていただいた。また、放送事業や健康食品事業など幅広い分野に進出しておられ、包装と放送の融合という新たな発想がとても印象的であった。

— 番組も作っている。「BSテレ東などで放送中のドキュメンタリー番組『ものづくりの挑人(ちようじん)たち』です。他社の商品開発のストーリーを聞くと面白く、コンテンツにしたら皆さんの役に立つのではと始めました。企業価値、商品価値を上げるお手伝いをする点で、包装事業と関連性があると考えています」

— 求める人材は。「強めたいのは営業力。明るくて元気で素直な人を歓迎します」(まとも・大島光貴)

(株)マルヤナギ小倉屋

神戸市東灘区御影塚町4丁目9番21号 ☎078-841-1456

煮豆・昆布メーカーのマルヤナギ小倉屋。袋入りのとろろ昆布やカップ入り昆布つくだ煮など業界初の商品を世に送り出し、他社に先駆けて開発した蒸し豆は圧倒的なシェアを誇る。

- 設立(創業)／1951年
- 資本金／9,950万円
- 売上高／ 88億円(2017年7月期)
95億円(2018年7月期)
102億円(2019年7月期)
- 従業員数／467名
- 平均年齢／41歳

蒸し豆で圧倒的シェア

— どんな製品を販売していますか。

「煮豆やつくだ煮などが主力ですが、今は蒸し豆が売り上げの4分の1を占める第三の柱に育っています。日本人の食生活の最大の問題点は、食物繊維不足。うちは昆布やフキなど繊維が豊富な食品を扱っており、食べやすい形で安く提供したい。繊維が多いもち麦の市場開拓も進めています」



柳本一郎社長(左)に話を聞く甲南大3年の森一輝さん

— 蒸し豆が伸びている理由は。「15年前に蒸し豆を商品化しました。それまで豆製品の主流だった水煮は、栄養分が水に溶け出してしまう。蒸し豆はおいしくて栄養価が高い点が評価されたのでは。今年1月以降、市場全体では蒸し豆の販売金額が水煮を上回っています。自社はシェアが約70%あり、生産が追いつかない状態です」

— 輸出もしています。「2年前に米国への輸出を始めました。現在、食品スーパーやヨガスタジオなど約500店舗で販売しています。日本の市場が不振だから海外に出るのではありません。国内も好調で、今年の売上高は100億円を突破しそうです」

— 新たな取り組みは。「加東市と連携協定を結び、使用するもち麦の国産化に取り組みます。もち麦は蒸し豆に次ぐ商品に育てたい。消費者が求める良い原料を栽培してもらうだけでなく、高齢化や担い手不足など、農家が抱える課題の解決にもつなげられればと思っています」(まとめ・塩津あかね)

甲南大学
森 一輝さん

Check
学生が
チェック!

「全従業員の成長と、より高いやりがいの実現」という企業理念を大切にしており、社長の言葉からは社員一人ひとりへの愛情がよく理解できた。安くて栄養も豊富そして美味しいそんな商品をもっと色々な世代の人に知ってもらいたいと思った。

吉田ピーナツ食品(株)

神戸市長田区神楽町2丁目3番22号 ☎078-641-6262

100年余りの歴史を持つ豆菓子メーカーの老舗。古くから親しまれている落花生やそら豆などのほか、食塩不使用のナッツが好評だ。

- 設立(創業)／1914年
- 資本金／4,800万円
- 売上高／38億円(2016年6月期)
43億円(2017年6月期)
53億円(2018年6月期)
- 従業員数／96名
- 平均年齢／40歳

食塩使わず、素材の味生かす

— 原材料の調達や保管の工夫は。「原材料のほとんどは輸入で賄っています。在庫を十分に確保できるよう、年1回の収穫期に1年分をまとめて購入し、神戸港の倉庫で保管します。保管期間が長く、商品ごとに適温が違うので温度管理を徹底しています」

— 売れ筋の商品は。「かつては落花生がよく売れていました。近年は健康志向の高まりを受け、食物繊維が豊富とされるナッツが売り上げの6割を占めています。食塩を使わず、素材の味を生かした商品が受けています。核家族化に伴い、大袋より個別包装商品の需要が伸びていますね」

— 豆菓子以外の商品は。「2012年からドライフルーツを販売しています。ナッツ類と同じおつまみ売り場に陳列されるため、(小売店に対し)販売の提案がしやすいことから採り入れました。豆以外の菓子類などこれまでにない商品を投入することも検討していますが、売り場が変わると既に販路を持つ競合他社がいて、提案が難しくなるのが課題です」

— 購買世代は。「50歳代から増え、60～70歳代の割合がかなり多いと言えます。昨今の健康食品の需要増が拍車を掛けて、高齢者がほとんどを占めています」

— 求める人材は。「まずはコミュニケーションを大切にする人。困難にぶつかってもすぐに投げ出さず、粘り強く前向きに行動できる人を求めています」(まとめ・中村有沙)



吉田直斗社長(右)に話を聞く関西大3年の青木由真さん

Check
学生が
チェック!

関西大学

青木 由真さん

近年、健康ブームを背景に無加工豆が人気であることや、個食や核家族化に伴って個包装商品の売上が伸びていることが印象的だった。社会変化が食品業界に及ぼす影響を知り、今後変わりゆく顧客のニーズを反映したどのような新商品が誕生するのか楽しみになった。

六甲山観光(株)

神戸市灘区六甲山町一ヶ谷1-32 ☎078-894-2071

1932年に六甲ケーブルを開業した。山上では国内有数の眺望スポット・六甲ガーデンテラスや六甲高山植物園、六甲山スノーパークなど人気の施設を数多く運営する。

- 設立(創業)／1937年
- 資本金／8,098万円
- 売上高／23億 258万円(2016年3月期)
23億6,973万円(2017年3月期)
23億6,399万円(2018年3月期)
- 従業員数／214名
- 平均年齢／37.9歳

集客策「眺望に付加価値」を

― 六甲山の魅力とは。 「六甲山は神戸のシンボルの一つです。都心に近接し、山上までのアクセスもいい。眺望が抜群で、天覧台をはじめ夜景スポットが充実しています。植物園や牧場など自然の魅力を感じられる施設も多彩です」

― 入山者が減っている。 「人口減に加え、バブル崩壊と阪神・淡路大震災の影響で



宮西幸治社長(右)の話を聞く関西学院大3年の安井達哉さん

山荘や保養所の閉鎖が相次ぎました。市街地のレジャー施設など競合が増え、趣味も多様化。若者の車離れも進み、デートで六甲山をドライブする人も減っています」

― 観光客増加策は。 「キーワードは眺望プラスアルファです。秋の芸術イベント『六甲ミーツ・アート 芸術散歩』は、昨年に過去最高のチケット販売数を達成。山上は大いに盛り上がりました。アスレチックの新施設『フォレストアドベンチャー・神戸六甲山』も開業。ただ、魅力的なコンテンツを用意しても、知ってもら

えなければ意味がありません。認知度を高めるため、会員制交流サイト(SNS)の活用に力を入れています。通信環境の改善、住居や商業施設が来店しやすいように下水道などの整備も急務です」

― 訪日外国人客の誘致にも力を入れている。

「六甲ケーブルを利用する訪日客は増えていきます。近年は東南アジアからが多く、スノーパーク内にイスラム教徒向けの礼拝所を設けるなどしています。情報発信を強化し、より多くの国の人々に来てほしいです」(まとも・三島大一郎)

関西学院大学

安井 達哉さん

Check
学生が
チェック!

自然の豊かさを生かした事業が魅力的。観光客に対して六甲山に行きたいと思う原動力が必要。インスタ映えなどでSNSを上手く利用することで、国内のみならず外国人を含めた幅広い世代の集客も期待できると感じた。

六甲バター(株)

神戸市中央区坂口通1丁目3番13号 ☎078-231-4681

家庭用プロセスチーズの最大手で、世界で初めて棒状の「スティックチーズ」を開発したことで知られる。同業他社との差別化を図るため、「Q・B・B」ブランドのさらなる知名度向上を目指す。

- 設立(創業)/1948年
- 資本金/28億4,320万円
- 売上高/471億1,500万円(2016年12月期)
493億7,400万円(2017年12月期)
526億7,200万円(2018年12月期)
- 従業員数/405名
- 平均年齢/41.0歳

「Q・B・B」若者狙いPR

— **主な販売商品は。**「チーズ、チョコ、ナッツです。中でもチーズが全体の売り上げの95%を占めています。社名に『バター』とありますが、バターを製造したことは一度もありません」

— **社名の由来は。**「当初はマーガリンを製造する平和油脂工業として創業しました。当時、マーガリンが『人造バター』

と呼ばれていて、六甲山の麓で作る人造バターということで商品名を『六甲バター』と名付けました。商品をPRするために1954年、現在の社名に改めました」

— **課題は。**「主力のプロセスチーズやベビーチーズは国内最大のシェアを占めています。調査会社に依頼した消費者調査では、チーズと聞いて思い浮かぶブランドの1位は雪印で、Q・B・Bは明治に次ぐ3位でした。『B・B・B』や『B・B・Q』と答えた人もおり、ブランドが正しく認識されていないのが課題です」

— **今後の戦略は。**「若年層へのアプローチを強化します。去年は、まずQ・B・Bチーズを食べてもらえる機会をつくろうと、女性客の多いカフェと協力して、期間限定のコラボメニューを提供する企画を実施しました。東京・青山を手始めに神戸、名古屋、仙台など各地で開催し、毎回とても好評でした。チーズを使ったさまざまな料理に触れることで、若者にチーズの可能性を知ってもらいたいですね」(まとも・中村有沙)



塚本浩康副社長(右)に話を聞く甲南大3年の井上凛太郎さん(中央)と橋本梨央さん

甲南大学

橋本 梨央さん

Check
学生が
チェック!

新規顧客や新しい事に前向きで、業界の中でのシェアは高いがそれ以上に今後も企業として成長することを感じられて、素晴らしい企業だと思った。

アスカカンパニー(株)

加東市河高4004番地 ☎0795-48-4323

菓子の容器やチューブ状製品のふたなどのプラスチック製品を造っているアスカカンパニー。女性社員がいつまでもやりがいを持って働き続けられるよう成長の場を設けている。

- 👑平成26年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- 👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

- 設立(創業)/1968年
- 資本金/1億円
- 売上高/30億円(2016年10月期)
34億円(2017年10月期)
35億円(2018年10月期)
- 従業員数/241名
- 平均年齢/34.9歳

若手にリーダーを任せ、成長の場に

「会社の役割は社員に成長の場を提供すること。個人が成長すれば会社も成長できる。ひいては社会への貢献にもつながります」と長沼社長は言い切ります。

成長の場として、全社員が小グループに分かれ改善目標を決めて成果を発表する活動や会社が取り組むべきテーマで設けられるプロジェクトチームがあります。



「あ!コレ知ってる!」そんな製品を造っている会社です

評価センターの杉野文美さんは創業50周年誌制作プロジェクトチームのチームリーダーを入社2年目で任されました。「提案は複数出して選べるようにすること、戸惑っているリーダーに助け船を出すことなど、自分がしてもらってありがたかったことを仕事で生かすようにしています」と話します。

入社4年目で創業50周年記念行事企画プロジェクトチームのリーダーを任された品質保証室の高田文菜さんは「その時に築いた社内人脈が今、リーダーとして取り組んでいる別のプロジェクトでも役立っています」と話します。

在宅勤務10年超の女性社員も

育児休業や短時間勤務はとくに期限を設けず、在宅勤務を10年以上続けている



創業50周年に関するプロジェクトのリーダーを務めた高田文菜さん(左)と杉野文美さん

女性社員もいる同社。杉野さん、高田さんとも今後のキャリアに明確な目標を持って仕事に臨んでいます。「それぞれの働きたいという思いを最大限に尊重したい。そして彼女たちにはこれから入ってくる若い社員たちのモデルになってほしい」と長沼社長は期待を込めて語ります。

- 👑 平成25年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 製品・部材部門賞
- 👑 成長期待企業
- 👑 平成27年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑 平成29年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

建設現場で使われる安全帯（命綱）や工具袋などを製造する同社。会社の思いに共鳴して入社してくる若手社員にどんどん仕事を任せながら、強い会社づくりを目指している。

若手社員にも仕事をどんどん任せる

建設現場の事故を減らしたい、見た目にも誇りを持って働いてほしいとの思いから商品の開発、改良を続ける基陽。大学で工業デザインを学んでいた管理部の安藤風子さんは「デザインで社会の課題を解決したい」と同社を探し当て2017年に入社しました。現在は後から入社した40代の後輩とともにカタログ作成など会社の価値を発信する仕事に従事。「経験豊富な人生の先輩に学びながら仕事を任せてもらっています」と安藤さん。

- 設立（創業）／1975年
- 資本金／1,000万円
- 売上高／ 7億 70万円（2017年5月期）
10億 63万円（2018年5月期）
11億 46万円（2019年5月期）
- 従業員数／38名
- 平均年齢／42.5歳



基陽が製造・販売している安全帯（墜落制止用器具）

一人ひとりの思いを大切に全員で支え合う

2019年4月には2人の新入社員が入社。田丸祥太さんは「業界を本気で変えようとする姿勢にひかれました」。障害者野球チームのコーチを務めていることを伝え、会社がチームのサポートを申し出て、社員とチームとの交流が続いています。久米梨佳子さんは会社訪問で知ったハローキティの工具袋に感激して入社。「建築現場でもっと多くの女性が活躍できるよう、女性のための製品を作ることと貢献したい」と思いを語ります。2人の教育担当を務める安藤さんは「わからないことを積み残さないようコミュニケーション



2019年入社の久米梨佳子さん（右）と田丸祥太さん（中）にアドバイスする安藤風子さん

を取っている」と話します。「それぞれの可能性を最大限引き出すのが会社の務め。3人には会社を引っ張って行ってほしい」と全幅の信頼を置く藤田尊子社長。一人ひとりの社員の思いを丁寧にくみながら全社員の一体感を大切にする風土が事業の成長につながっています。

JCRファーマ(株)

芦屋市春日町3-19 ☎0797-32-8591

👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
 👑くるみん認定企業
 👑えるぼし認定企業

男女の分け隔てなく採用を進めるJCRファーマ。社員の女性比率は現在37%にまで増え、管理職に占める女性の割合は2011年の5.4%から18年には10.3%に上昇している。

- 設立(創業)／1975年
- 資本金／90億6,186万円
- 売上高／180億8,500万円(2017年3月期)
205億9,400万円(2018年3月期)
231億6,000万円(2019年3月期)
- 従業員数／613名
- 平均年齢／41.5歳

女性社員が半数を占める研究職

遺伝子工学などのバイオ技術を用い、希少疾病・難病に特化した医薬品開発に取り組む同社。研究職では女性社員が半数を占め、事業が拡大している近年は採用数を増やしていることで若年層での女性社員の比率がさらに上がっています。



会社の成長とともにキャリアを積み重ねた浅田亜希さんは後輩女性社員にとってのロールモデルを意識しています

高2の娘を持つ研究本部研究管理部部長の浅田亜希さんは、厚生労働省への新

薬承認申請手続を行う部門の長として大きなやりがいを感じているそうです。「先輩の女性社員は出産・育児で辞めていく人も多く手探りのことも多かったのですが、不安な時は周囲の社員に相談しながら支えてもらいました」とこれまでを振り返る浅田さん。「後輩の女性社員にとってのロールモデルに」を意識しつつ、20人の部下に対しては、フラットに接し、話しやすい雰囲気づくりを心がけているとのことです。

増える女性マネージャーがロールモデルに

「当社では男女隔てることなく評価を行っているので、あえて女性活躍という認識をすることなく実力で昇進させている」と芦田信会長。経営企画本部で広報・



社内託児所では男性社員が送り迎えする姿も当たり前のことになっています

IRを担当する入社10年目の小山ゆりさんは「社内で先輩女性管理職の方々の声を聞く機会がありキャリアをイメージしやすい」と話します。同社では職場や上司の満足度に関するアンケートで出てきた課題に対処する仕組みも整えており、働きやすい職場づくりに向けた取り組みをさらに進めていく考えです。



ランドセルメーカーのセイバンは近年取り組んできた生産改革により、定時内で効率よく生産できるようになり、子育てなど時間に制約のある社員でも働きやすい環境が整ってきている。

- 設立（創業）／1919年
- 資本金／4,500万円
- 売上高／非公開
- 従業員数／278名
- 平均年齢／41.5歳

支え合い、効率の良い生産が可能に

ランドセルは以前に比べ色、機能などが多様化し、きめ細かい生産が求められるようになっていきます。そこで、需要に応じて機動的に生産できるようにする改革に取り組んできました。とくに注力したのが多能工化です。前ポケット、肩べ



2020年竣工予定の新本社工場（イメージ画像）

ルトなどのパーツごとにグループ分けし、グループ内の数ある工程はだれでもこなすことができる事を目標にしています。また、だれかの作業が滞るとすぐにサポートに回るようにしました。1日の生産目標に向け、定時内で達成する意識が醸成され、時間外労働の削減にもつながりました。

「気兼ねなく休めるようになりました」

入社以来、企画、製造部門を経験してきた竹添奈津希さんは男児を出産した後育児休暇を取得。2019年5月に職場復帰を果たし、現在は短時間勤務制度を利用しています。「以前は休むと工程が滞るため休みづらかったのですが今は気にせず休めるようになりました。何よりグループ内で助け合うようになり、さらなる改善に向けコミュニケーションも活発です」と笑顔で話します。



多能工化により育児と仕事を両立できる環境が整ってきたと話す竹添奈津希さん

20年6月にはたつの市に新工場が完成し、現在ある3工場を集約。さらに効率的な生産体制を構築するとともに社員食堂やリラクゼーションルームの導入も予定しており、さらに働きやすい環境を目指します。取締役執行役員の泉扶実さんは、「生産現場の8割は女性。社員全員が支え合ってより気持ちよく働ける環境を整えていきたい」と話しています。

ちゃいるどはーと

(株)チャイルドハート

神戸市西区今寺3番地の22 ☎078-783-2800

「仕事を持つ母親を応援したい」と1992年に保育事業を創業した木田聖子社長。だれもがストレスなく働き続けられる仕組み、風土を進化させ続けている。

- 👑成長期待企業
- 👑平成28年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑平成29年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

- 設立(創業)/1992年
- 資本金/3,810万円
- 売上高/3億7,400万円(2017年9月期)
4億8,800万円(2018年9月期)
5億5,000万円(2019年9月期)
- 従業員数/240名
- 平均年齢/45歳

公平さを保ち、やりたいことを応援

保育士それぞれの事情に応じて柔軟な働き方を認めてきた同社。2016年からはより公平感を保てるようにパート、短時間正社員、正社員から働き方を選ぶことができ、すべて時給制としました。また、有資格者がリトミックや習字などを園児たちに教える場合、ひと月5千円の手当を出すなど、保育士のやりたいことを常に応援する方法を考えてきました。



仕事プライベートも楽しければと語る太田めぐみさん。子どものしぐさに思わず笑顔がこぼれます

高2、中3、小4の3人の子どもを持つ石崎英美さんは園長就任を機にパートから短時間正社員になりました。また、太田めぐみさんは短大卒業後正社員として働き続けています。離職率の高い保育業界の中で2人はともに勤続13年。「休みを取るのはお互いさま。辞めたいと思ったことも一度もない」と口をそろえます。

働き続けられる受け皿も整備

「社長は実は二人いるのでは」と社員がいぶかるほど、木田社長のフットワークは軽快です。三重や沖縄にもある全29園のミーティングに毎月顔を出し、一人ひとりの社員との面談を欠かしません。「私たちのことをいつも気にかけてくれています」。



チャイルドハートが大切にしている7つの社是

木田社長は来年、保育園の経営状態を評価する第三者機関のNPO法人を立ち上げる予定にしています。同社ならではのノウハウを生かすとともに、「全従業員の1割を占める60歳以上の24人の社員の受け皿にできれば」との狙いがあるとのこと。従業員ファーストの思いが徹底しています。

早駒運輸(株)

神戸市中央区波止場町5-4 ☎078-321-0151

神戸港をめぐる観光船「ファンタジー号」を運航する早駒運輸。“男社会”の色彩が強い船舶業界で数多くの女性社員が活躍し、企画、サービス面で新しい風を吹き込んでいます。

- 設立(創業)／1950年(創業1885年)
- 資本金／1億3,000万円
- 売上高／37億1,800万円(2016年8月期)
37億8,000万円(2017年8月期)
38億5,000万円(2018年8月期)
- 従業員数／138名
- 平均年齢／42.7歳

女性船員として道を切り開く

1885(明治18)年に沿岸荷役業で創業して以降、船を牽引する引船業などの港湾サービスなどを手がけ、神戸港の発展とともに歩んできました。さらに1996(平成8)年からは観光船神戸シーバス「ファンタジー号」の運航を開始。以来、乗船スタッフや企画広報室などで女性社員の採用を増やしています。

ファンタジー号の4人の船長のうち3人が女性です。久保柚葉さんは船乗りを目指して専門の短大を卒業後、入社しました。「女性への扉がまだまだ開かれていない業界にあって好きな道に進むことができ運がよかった」。操舵ではお客様が安心してクルーズを楽しめるよう、安全運航を心がけているという久保さん。「結婚、出産しても働き続け、女性船員としての道を切り開いていきたい」と話します。



船長として安全航行の重責を担う久保柚葉さん

入社6年で係長に昇進

2019年春に、入社6年で新規プロジェクトチームの係長に昇任した浜床美里さんは「昇進には自分でも驚きましたが、任される分やりがいを感じています」。フラダンスやハワイ料理でもてなすハワイアンクルーズなどファンタジー号におけるパーティクルーズなどを企画しチームを引っ張っています。



ファンタジー号を支える女性社員。浜床美里さん(左)は企画運営を通じて船を盛り上げています

神戸港一帯の公共施設の指定管理業務も受託している同社。渡辺真二社長は「女性ならではの発想を生かしながら神戸港にさらににぎわいを生み出していきたい」と先を見据えています。

(株)阪技

高砂市荒井町東本町19-23 ☎079-443-4405

同社では経営の中核と位置付ける総務部門で働く社員14人のうち13人を女性が占めている。長い目でキャリアを積んでもらうために適性を見極めた人材配置に力を入れている。

取引先に感動を与える会社に

大手重工業、重電メーカーの協力企業として、発電機器などの設計から生産技術、品質保証、システム開発まで、ものづくりに関わる一連のサービスを提供している阪技。「ただ依頼された仕事をこなすだけではなく、お客様に感動を与えられる会社にと」後藤純次社長。そのため適材適所の配置に注力し、「自分自身で考え、行動できる」人材の育成に努めています。

適材適所の配置で社員が輝けるように

新入社員は3カ月程度の研修を経た後に、現場で2次研修に臨み、適性を見極めたいうで配属が決まります。入社3年目の山本千尋さんは総務部業務課で新卒採用を担当しています。配属後、それまで1日で終わっていたインターンシップを3日に増やすことを会社に提案し、実現させました。また、入社2年目の中尾充香子さんは当初設計業務に携わりたいと考えていましたが、研修の結果、社内外の発信媒体のデザインを任されました。「自分にできるのかと思ったが今はとてもやりがいを感じています」と話しています。



阪技は「自ら考えて動く人」を求めています

👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

- 設立(創業)/1981年
- 資本金/1,000万円
- 売上高/14億5,000万円(2016年12月期)
14億5,000万円(2017年12月期)
15億円(2018年12月期)
- 従業員数/238名
- 平均年齢/36.3歳



女性社員たちの活躍は、会社にもイノベーションをもたらす力になると期待されています

東京、神戸、沖縄の3カ所にサテライトオフィスを設け、RPAなどを活用しながら生産効率をさらに高める働き方の開発にも力を入れている同社。「出産を経て復帰し、いきいき働いているロールモデルになる先輩をお手本にしながら働き続けたい」と二人はともにこの会社でのキャリアアップを思い描いています。

カタログやオンラインでファッション、生活雑貨を販売するフェリシモ。近年は男性社員による育児休業を取得するケースも増え、仕事と生活を両立する風土が根付いている。

👑平成23年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
👑くるみん認定企業

■設立(創業)/1965年
■資本金/288億8,200万円
■売上高/309億 6万円(2017年2月期)
292億85万円(2018年2月期)
288億82万円(2019年2月期)
■従業員数/800名
■平均年齢/42歳(社員のみ)

若手にリーダーを任せ、成長の場に

30～40代女性向け服飾雑貨カタログ「イディット」で商品企画を担当する柏木菜子さんには中2の息子、小4の娘がいます。そもそも就職活動の際、「結婚、出産しても働き続けられること」を条件に会社を選び、入社したとのこと。第1、2子の出産ともに育児休暇を取得し、短時間勤務制度やフレックスタイム制度を活用しながら育児と仕事を両立してきました。



柏木菜子さん(右から2人目)と「イディット」チームのメンバー。育児をこなしながら仕事でも輝いています

パートを含めると全従業員の85%以上が女性の同社。中でも柏木さんが籍を置く「イディット企画チーム」はメンバー10人全員が女性で、うち5人が出産を経て職場復帰を果たしています。「だれかが急な子どもの病気の有休を取らざるを得ない時でもお互いさまの気持ちでいられます」。また、同社では男性社員による育児の取得、短時間勤務制度の利用が増えており、仕事とプライベートのバランスをとるのは当たり前という風土がすっかり根付いています。

それぞれの働き方を支えられるように



フェリシモ オリジナル商品

商品のターゲット世代と重なるだけに自身が普段感じることをそのまま企画に生かしヒット商品を送り出している柏木さんは「これからも好きな企画に携わっていきたい」と考えています。総務部の山崎力さんは「柔軟な発想を生み出し、より働きがいを感じられるような制度設計を考えていきたい」と話し、従業員がより働きやすいよう後押ししていく考えです。

メック(株)

尼崎市杭瀬南新町3丁目4番1号 ☎06-6401-8160

創業時からだれもが多彩な能力を発揮できるような職場作りを進めてきたメック。役員7人中3人が女性であるなど、男女の区別なくキャリアを積んでいける風土ができています。

- 👑 成長期待企業
- 👑 平成26年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑 平成27年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑 兵庫県立地支援企業 🏆 くるみん認定企業

- 設立(創業) / 1969年
 - 資本金 / 594万円
 - 売上高 / 92億5,900万円(2017年 3月期)
(連結売上高) 96億4,100万円(2017年12月期)※
113億2,800万円(2018年12月期)
 - 従業員数 / 378名 連結(225名 単体)
 - 平均年齢 / 42歳 単体
- ※決算期変更による変則決算(日本単体9カ月、海外子会社12カ月)

創業当初から目指す働きやすい風土

5GやIoT、クルマの自動運転等で注目が集まるエレクトロニクス分野を支える電子基板・部品製造に使用される薬品の開発、製造・販売を行う研究開発型メーカー。創業の頃から男女の区別なく有能な人材を求め、出産を控えた女性社員一人ひとりに「また戻ってきてほしい」と声をかけていたとのこと。「創業者は、男女それぞれで違う能力を生かすべきと考え、しなやかさを持つ女性の特性を尊重し、長く働き続けてほしいと考えていました」と前田和夫社長。現在は介護など様々な事情を抱えた社員がストレスなく働けるよう取り組みを進めているほか、だれにでも活躍の場を提供し、中長期に資する成果を上げた人に報いる機会平等型の評価・処遇の確立を目指しています。



本社外観写真

だれもがキャリアを積めるように

研究開発本部技術開発センターの逢坂育代さんは第1子の出産を経て2019年6月に職場復帰しました。「必要に応じ部門内で調整する等、業務がスムーズに行われる協力体制があり、育児休業取得後はみんな復帰しています。不安に思うこともありますが、前例が多く先輩方に相談してやっています」と話します。



育休からの復帰は社内では普通のことになっていると語る道田幸子さん(左)と逢坂育代さん

管理職46人のうち9人を女性が占める同社。管理本部情報システムグループ・グループ長の道田幸子さんもその一人です。09年、13年に出産し、職場復帰。18年1月からグループ長を任され、昨年は中国、台湾の子会社に計4回出張しました。「社内におけるITの重要性は増えています。求められればキャリアをさらに積んでいきたい」と話しています。

(株)ユーシステム

神戸市中央区御幸通4-2-15 三宮米本ビル4F ☎078-252-7300

- 👑 成長期待企業
- 👑 平成23年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑 平成27年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

業務支援システムの開発やホームページを制作しているユーシステム。システムには自社で取り組んできた働き方改革のノウハウが詰まっており、女性社員がいきいきと働くことができています。

- 設立(創業) / 2002年
- 資本金 / 1,000万円
- 売上高 / 非公開
- 従業員数 / 20名
- 平均年齢 / 非公開

仕事が見える化し、残業時間を大幅削減

国を挙げて進められる「働き方改革」。より短時間で同じ成果が上がるように工夫することで仕事の生産性が向上し、多様な働き方が可能になります。同社もかつては長時間残業する社員もいましたが、今では月平均13.9時間にまで減っています。その過程でまず取り組んだのが、毎日30分の会議を週1回にしたことです。



会議は週に1回。必要なことを決められた時間内に確認することで効率化にも繋がります

併せてシステム上に一人ひとりの社員が作業時間を15分単位で入力することで、案件ごとの進捗や損益の状況を全員で共有できるようにしました。「お互いが助け合い、どうすればより効率よく仕事ができるか全員が考えるようになりました」と佐伯里香社長。

「会社に貢献できていることを実感」

チームリーダーの田中希さんは専門学校を卒業後、東京の制作会社で働いていましたが、長時間の残業が続いて心身ともに疲れ、3年半で退職します。実家のある神戸に戻り、見つけたのが同社でした。「定時に帰れることでストレスが減り、仕事の状況が見える化されていることで会社に貢献できていることを実感できて



職場環境の整備や女性の活躍がめざましい企業として数々の表彰を受けています

います」と田中さん。システムは、社長が社外からでもスマホを通じて確認、連絡できるため、業務の承認スピードが早く、お客様対応も滞りなく進められます。また、子育て中の女性社員の短時間勤務や在宅勤務も利用しやすい社内制度が充実しており、「残業ゼロ」に向けてシステムをさらに進化させていこうとしています。

伊東電機(株)

加西市朝妻町1146-2 ☎0790-47-1225

品物を自在に、迅速に、安全に搬送するための駆動源であるMDR(Motor Driven Roller)で国内、世界シェア70%を占め、工場や物流センターのインテリジェント化に貢献し続けている。

- 👑平成28年度 ひょうごオンラインワン企業
- 👑平成30年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- 👑兵庫県立地支援企業

- 設立(創業)/1965年
- 資本金/9,000万円
- 売上高/67億3,600万円(2017年3月期)
81億 800万円(2018年3月期)
89億2,900万円(2019年3月期)
- 従業員数/320名
- 平均年齢/36歳

通販の普及で需要がさらに増加

小型モーター専門メーカーとしてスタートした同社が自社製品の開発に挑み「パワーモラ」を商品化したのは1975年のこと。ローラ内部にモーターと減速ギアを組み込むことで1本ずつ速さや動きを制御し、センサーやバーコードを組み合わせることで品物を1個ずつ目的の場所へ運ぶことを可能にしました。米国



最新技術を集結したデモ機

郵政公社など海外で最初に火がつき、パワーモラ事業に特化しました。

当初の製品は工場のラインで使われることが多かったのですが、近年は通販の普及に伴い物流センター向けに旺盛な需要が続いています。パワーモラをモジュール化、システム化した製品も増やしており、全体をMDR事業ととらえ、毎年のように数多くの新製品を送り出しています。

手づくりで開発スピリットを養う

MDRについてはアメリカ、欧州、中国、アジア向けのほか全世界への普及を目指しており「当面は北欧、インド、オーストラリアなど未開拓の市場を攻めていく」と統括本部副本部長の森田玲司氏。また、新事業として力を注ぐ植物工場ではセルごとに光、空調を管理し、搬送技術のノウハウを生かし効率的に出荷できるシ



2019年度の新入社員

ステムを実現しており、今後の伸びが期待されます。積極的に新卒(高卒を含む)を採用していますが、事業拡大のスピードに人員が追いつかないほど。事業の伸びしろが大きいだけに「チャレンジ精神を持った人」を求めています。

1993年の創業以来、顧客本位の視点で不動産業界に新風を送り込んできたウィル。社内コミュニケーションを大切にした社風で伸び伸びと働く社員が顧客との信頼を支えている。

- 設立(創業)／1993年
- 資本金／2億7,778万円
- 売上高／48億8,100万円(2016年12月期)
52億2,200万円(2017年12月期)
60億5,400万円(2018年12月期)
- 従業員数／216名(グループ全体)
- 平均年齢／29.5歳(ウィル単体。正社員のみ)

顧客本位を貫き、業界の常識に挑む

不動産仲介に加え、近年は付加価値を持たせつつ中古住宅を美しくよみがえらせるリフォーム事業の伸びが顕著です。「日本は新築指向が根強かっただけに今後中古リフォーム市場が伸びる余地は大いにある」と社長の坂根勝幸氏は今後を見据えます。



昭和48年築の中古戸建てのリノベーション事例

不動産業界内では当たり前とされてきたことを顧客視点でとらえ直し、新たな挑戦を続けてきました。業界初の平日会員制度、リフォーム付き住宅ローンなど枚挙にいとまがありません。なにより営業で大切にしているのが「お客様代行」の考え方。「お客様の代弁ができるほどにお客様のことを理解してから物件をご紹介します」ことで信頼を築いてきました。

「会社は人生を面白くするためのツール」

業界に新風を送り続けてこられたのは伸び伸びした会社の風土あってこそ。原則中途採用はせず新卒採用のみで人材を集め、新卒内定者が参加する全社バーベキュー大会や、内定式(運動会)を含む年4回の研修旅行など社内行事に力を入れています。「会社は人生を面白くするためのツール。会社に使われるのではなく会社

社を使えと社員には常に伝えている」と坂根氏。

2019年2月、「地域に恩返ししよう」という社員の思いから空床が目立つ本社に隣接する商業施設を取得しました。テナントの誘致やイベントの開催で地域を盛り上げます。これからも、ウィルだからこそできることで顧客、地域に根差した事業を展開していこうとしています。



内定式(=運動会)の一場面

ウシオ精工(株)

神崎郡福崎町南田原696 ☎0790-22-1089

金属のプレス加工と樹脂の射出成形を組み合わせた加工を得意とし、自動車電装部品から日用品の容器まで幅広く手掛ける。効率よく不良品を出さないよう工夫と努力を続ける。

- 設立(創業)/1962年
- 資本金/3,700万円
- 売上高/39億3,300万円(2016年10月期)
39億3,200万円(2017年10月期)
40億9,200万円(2018年10月期)
- 従業員数/209名
- 平均年齢/43歳

品質保証とコストダウンを両立

金属切削加工で創業し、自動車のオルタネーター(発電機)部品の受注を契機に樹脂成形加工にも進出しました。これにより金属樹脂複合部品の一貫生産が可能になりました。現在は「自動車電装部品」のほか、機械の制御に使われるPLCケースなどの「産業機器電気部品」、芳香剤の容器など「民生用プラスチック部品」の3事業を手掛けています。オルタネーター向け部品は世界で生産される自動車の約15%に同社の部品が組み込まれています。



第2工場遠景

不良品を発生させない高いレベルの品質保証と、絶え間ないコストダウンの要請に応えるため、自動化機械や検査機器の投資が欠かせず「どこまでを自動化するか、いかに機械を組み合わせるかノウハウを蓄えてきた」と谷口守男社長。

不良品を発生させない高いレベルの品質保証と、絶え間ないコストダウンの要請に応えるため、自動化機械や検査機器の投資が欠かせず「どこまでを自動化するか、いかに機械を組み合わせるかノウハウを蓄えてきた」と谷口守男社長。

「社員の成長が会社の成長につながる」

谷口社長は「社員が会社で成長することが人間の成長につながり、それが会社の成長につながる」と話します。2017年には生産用には使わないマシニングセンター(切削機)を導入。「使いたい人が自由に使って、新しいことに挑戦してくれ

ば」。また、入社3年目以上の社員には国家資格であるプラスチック成形技能士の資格取得を促し、現在までに特級を1人、1級を5人、2級を19人が取得しています。

「これからも地域に密着しながら若い社員を採用し、安定してよい製品をつくり続けるために改善を重ねていきたい」と話しています。



工場内設備 生産ライン

(株)カコテクノス

神戸市須磨区大田町7丁目4-2 ☎078-732-3851

新幹線をはじめとする鉄道車両向けのブレーキ装置や保安装置、発電所、変電所向けには万一の事故や災害時に瞬時に電気を遮断する装置など「止める技術」で社会に貢献している。

- 👑 平成28年度 ひょうごオンリーワン企業
- 👑 平成28年度 ひょうご No.1ものづくり大賞 大賞
- 👑 成長期待企業

- 設立(創業) / 1935年
- 資本金 / 7,700万円
- 売上高 / 48億3,000万円 (2016年11月期)
49億 93万円 (2017年11月期)
56億 60万円 (2018年11月期)
- 従業員数 / 242名
- 平均年齢 / 45.4歳

鉄道車両の半数でブレーキ装置が採用

「止める技術」には制御する技術だけでなく、システムを塵^{ちり}や水、振動などの過酷な環境から守る筐体^{きやうたい}の技術も含めた総合力が問われます。こうした装置の設計・開発から組み立て、試験までを一貫して担い、国内を走る鉄道車両の2台に1台は同社の装置が使われています。



展示車両での模擬試験訓練

3年前にはブレーキ装置・保安装置に欠かせない回転速度センサを開発し、断線しにくいコイルの配置で特許を取得。2016年度に「ひょうごオンリーワン企業」と「ひょうごNo.1ものづくり大賞」を受賞しました。

今後は回転速度センサのラインアップを増やすなどして海外マーケットの開拓にも注力していく予定です。

個々の研鑽^{けんさん}とともに、横のつながりも大切に

会社の「考動」指針スローガンとして「Getting better よりよく、もっとよりよくを目指して」を掲げています。創意工夫活動では毎年1人平均10件以上の改善提案が出され、優秀な提案は毎年、兵庫工業会で表彰を受けています。こうした一人ひとりの研鑽に加え、「当社の製品はさまざまな部門が力を合わせ最終的に一つのものをつくり上げていくため横の連携が重要」との考えから、5S(整理・整頓・



ヒューマンエラー防止勉強会

清掃・清潔・しつけ)活動などに部門横断メンバーで取り組んでいます。2018年に続き19年5月にも運動会を行いました。「社員の一体感を高めることが目的」です。求める人材は「自ら考えて行動し、向上心を持って働ける人」です。

川西航空機器工業(株)

川西市下加茂2丁目1番6号 ☎072-759-4145

航空機向け部品を製造して50年を超える。主体の防衛省向けに加え、近年は民間航空機向けを強化。広がる事業機会をとらえるべくチャレンジできる風土を育てようとしている。

- 設立(創業)／1967年
- 資本金／6,000万円
- 売上高／12億3,200万円(2017年5月期)
11億2,100万円(2018年5月期)
13億2,900万円(2019年5月期)
- 従業員数／113名
- 平均年齢／40.5歳

安全を徹底し、航空・宇宙市場で信頼を築く

航空機の製造に欠かせない、ねじを締め付けるためのワッシャー、部品同士のすき間を埋めるためのシム、配管を固定するためのクランプなど航空機に使われる規格品を五千種類ほど製造しています。これらの部品は国内の機体メーカー、エンジンメーカー全てで採用されており、最終的に自衛隊や航空機メーカーの飛行機、船に使われています。



大企業に負けないスペックと企業風土で、地域の子どもの憧れとなれる企業をめざしています

長年の実績で築き上げた信頼を強みに、国際宇宙ステーション日本実験研究棟「きぼう」の空調機材なども手がけてきました。最大の強みは、材料選定から製造、表面処理、非破壊検査、組立、品質保証までをすべて一貫して担っていること。「すべての工程において絶対安全の意識を徹底させています」と小寺久志社長。

ビジネスチャンス見据えチャレンジする風土醸成

近年特に力を入れて取り組んでいるのが民間航空機分野です。世界的に成長市場と期待される分野ですが、その分競争も激しくなることが予想されます。「これまでの信頼の上に挑戦する風土を醸成させていきたい」との思いから、人材教育



航空機の品質を確保するため、日々綿密な検査をしています

をシステム化するとともに、製造、技術、営業、品質保証など多様な部門をローテーションさせることで幅広い視野を身に付けてもらおうと考えています。「部品にとどまらず、いずれはシステムの装備品も任されるようチャレンジしていきたい」と先に広がるビジネスチャンスを見据えています

近畿工業(株)

神戸市中央区栄町通4-2-18 ☎078-351-0770

様々な廃棄物をリサイクルするための機械を製造する環境機器メーカー。近畿工業の製品は、ゴミ処理・家電リサイクルなどの分野で使用され、地球環境保全に貢献している。

👑平成29年度 ひょうごオンリーワン企業

- 設立(創業)/1953年
- 資本金/6,500万円
- 売上高/46億2,700万円(2017年7月期)
50億円(2018年7月期)
52億1,200万円(2019年7月期)
- 従業員数/180名
- 平均年齢/38歳

創業70年を誇る業界のリーディングカンパニー

人々の生活の中では、決まった曜日に出すゴミ、使わなくなった家電等、様々な廃棄物が出てきます。これらは、全国のクリーンセンターや、リサイクルする会社で適正な処理がなされています。その過程で使用されているのが近畿工業の製品です。「モノを細かく砕く」「素材ごとに分別する」などの処理を行っています。

環境問題は世界的な社会問題であり、その関心と市場は今も拡大し続けているため、直近5年間で、製品の売上は1.3倍に伸びています。



近畿工業が活躍するフィールド

多様化するリサイクルニーズ

変化し続けるリサイクル技術の需要に応えるため、新技術・製品の開発が必要です。例えば、「太陽光パネル」。2040年には約80万トンが廃棄されると言われており、現状の埋立処分では到底処理が完了しません。そのため新しいリサイクル技術が求められている中、2014年に設立された同社の「近畿メカノケミカル研究所」では、太陽光パネル専用処理設備「ReSola」を開発しました。



太陽光パネル処理設備「ReSola」

また、生産面においても、今後さらなる拡大が見込まれるリサイクルニーズに対応するため、新工場を建設中です(2020年春から稼働開始予定)。ロボット技術、機械加工工程の多くを自動化することで、生産効率を向上させ、生産量の増加や短納期の対応が可能となります。

シバタ工業(株)

明石市魚住町中尾1058番地 ☎078-946-1515

1923年の創業以来、ゴムを使った幅広い製品を送り出してきた企業だ。近年は同じゴムで「防災・安全・環境」に役立つことをテーマに、新しい製品を次々に開発、社会への貢献を目指している。

- 設立(創業)／1923年
- 資本金／9,700万円
- 売上高／134億円(2017年5月期)
138億円(2018年5月期)
132億円(2019年5月期)
- 従業員数／393名
- 平均年齢／41.2歳

「防災・安全・環境」に役立つ商品を

ゴム履物類の製造販売でスタートし、ゴムの特性を活かした様々な製品を世に送り出してきましたが、1995年の阪神・淡路大震災が大きな転機となりました。使命感に燃えた若手社員が被災地を見て回った際、高速道路の橋桁が外れた光景を見て、「この橋を通ることができれば、多くの命を救えたのでは？」と感じたこ



【船体取付式防舷材】世界トップシェア! あらゆる船の形に合わせるオーダーメイド。シバタ工業の独自技術あり!

とから産まれたのが橋桁の落下を防ぐ“緩衝チェーン”です。これを機に「防災・安全・環境」に役立つ製品開発が会社のテーマとなりました。

また、マレーシアやドバイ、欧州等、海外拠点から全世界に向けて製品を発信しています。なかでも“船体取付式防舷材”は世界一のシェアを誇っています。

創業100周年に向けブランドロゴを一新

社是は“素直な心、敬愛の心、感謝の心”。新しい提案、製品開発には、強力なチームプレーが求められます。生産・技術・企画・管理等各部門がワンフロアに集まり、部門を越えて密接に連携しているのが強みです。

全社員で投票し順位を決める改善提案(総選挙)制度では、キャリアに関係なく若手の意見も平等に評価されます。2023年の創業100周年に向け、一新された会



【ロゴマーク】安心して生活できる環境や美しい自然の景観を次の世代に引き継ぐために、果敢に挑戦していきます

社のロゴマークは、培ってきた技術力と、これからの発展を表しています。現状に満足することなく全社一丸となって“シバタ工業にしかできないことにさらに磨きをかけていきたい!”と総務人事部の藤本雄大さんは話します。

(株)シュゼット・ホールディングス

西宮市久保町5-16 ハーバースタジオ43南館 ☎0798-36-8700

「高級菓子の複合体」を目指して4つのブランドを擁し、代表商品であるフィナンシェは年間販売個数でギネス世界記録®を達成。積極^{けんきゆう}チャレンジ人財の育成に力を入れ、洋菓子市場を牽引している。

- 設立(創業)／1969年
- 資本金／1億円
- 売上高／209億円(2016年9月期)
231億円(2017年9月期)
243億円(2018年9月期)
- 従業員数／2,700名
- 平均年齢／34歳

50年、100年愛される菓子作りを

1969年の創業ブランドで高い認知度を誇る「アンリ・シャルパンティエ」、ティラミスなどの商品群で若い世代から支持を集める「シーキューブ」、ミルクレープなど重ね菓子の魅力を発信するまったく新しいブランド「カサネオ」、クリームがこぼれそうなクリームパンで人気の「バックハウスイリエ」の4ブランドを展開。



年間販売個数でギネス世界記録®を更新中のフィナンシェ

「ブランドや店舗数を増やすことだけを目指すのではなく、50年、100年愛される菓子をつくっていききたい」と総務人事部部長の藤岡裕司氏は話します。

シュゼットの使命は、「たったひとつのお菓子から、心ときめくシーンを演出すること。お菓子を通じて、「幸せ・喜び・驚き」を届けるために日々邁進^{まいしん}しています。

積極的にチャレンジできる人財が活躍

それを可能にしているのが充実した社員育成の仕組み。朝礼や研修で唱和している企業理念や、「自ら考えて、動く」「違いを生み出す」「まずやる、すぐやる」などの行動指針にいつでも立ち返れるようにしています。高卒採用にも積極的で、昇給、昇格では実力主義を徹底。製造、販売、管理部門などの部門を超えて活躍する社員も多く、「転職せずともやりたい仕事が社内でする」こともあり、離職率は業界平均の約半分にとどまっています。



おいしい「コト」づくりを大切にしています

積極的にチャレンジする集団で、これからも永遠なるお菓子文化を築き、うるおいある世界を創造し続けていこうとしています。

The best-selling plain financier (cake) company - current (2016年10月1日～2017年9月30日:年間販売個数27,896,160個)

新明和工業(株)

宝塚市新明和町1-1 ☎0798-56-5000

産機システム、流体、パーキングシステム、航空機、特装車の5事業を展開。県内では宝塚市、神戸市、小野市に生産拠点を持ち、それぞれ特色あるものづくりを行っている。

- 設立(創業)/1920年
- 資本金/159億8,196万円
- 売上高/2,012億 400万円(2017年3月期)
(連結ベース) 2,073億3,500万円(2018年3月期)
2,172億9,700万円(2019年3月期)
- 従業員数/5,083名
- 平均年齢/42.9歳

航空機製造から始まった歴史

ダンプトラックや塵芥車(ごみ収集車)、機械式駐車設備、空港ビルと旅客機をつなぐ航空旅客搭乗橋をはじめ、「新明和」ブランドの製品群は日々の生活で目にするものが多くあります。

1920年に誕生した川西機械製作所飛行機部が源流。独力で航空機を製造した不屈のものづくりの精神は、戦後になって様々な分野で開花しました。近年の好業績を特にけん引するのが航空機と特装車事業。前者では、救難飛行艇の他に機体のカバーや骨組みなどの生産を担当し、ボーイング社から「ボーイング・サプライヤー・オブ・ザ・イヤー」を、「主要構造部門」では世界で初めて2年連続(2013年度、14年度)で受賞。後者ではダンプトラックなどが東日本大震災の復興需要や、東京五輪に向けた建設需要の増加に伴い好調です。



US-2型救難飛行艇

和の精神に基づく顧客対応力が強み



自動電線処理機 TRD510

全国に9つの生産拠点を持ち、県内では宝塚市、神戸市東灘区、小野市に産機システム・航空機・流体事業の工場を持ち、兵庫県内の学生を多く採用しています。全国の工場で毎年開催される「社内技能競技会」は50年近い歴史を持ち、「工師」、「工匠1級・2級」の社内資格が認定され給与にも反映されます。海外の売上比率も約2割に達しています。「やりたいことにチャレンジし、グローバルで活躍したいという人にチャンスのある会社」と人事教育グループ長の滝上集氏は語ります。

自社ブランド「アラジン」で発売したグラファイトトースターが60万台を売り上げるヒット商品となっている。瞬間的に高熱になるヒーターの特長を生かした商品開発でさらなる成長を目指す。

- 設立(創業)／1953年
- 資本金／9,600万円
- 売上高／157億9,100万円(2016年12月期)
154億4,700万円(2017年12月期)
161億2,391万円(2018年12月期)
- 従業員数／295名
- 平均年齢／40歳

トースターの販売台数は60万台に

2018年度の売り上げは160億円強。成長著しいのが自社ブランド製品です。

もともと「アラジン」ブランドのストーブを製造していましたが、12年に大手電機メーカーからグラファイトヒーターの事業を丸ごと買い取り、これを活かした商品開発がスタート。トースターはその温熱特性により「外はカリッ、中はも



本社社屋

っちり」焼き上がるおいしさがテレビ番組で取り上げられて火がつき、累計60万台を超えるヒット商品になりました。

企画、開発から製造、販売、さらにはコールセンターまで社内で完結。「コールセンターと開発部門は同じフロアにありニーズや問題点が迅速に次の商品作りに活かされている」と千石唯司社長。

海外での売り上げを伸ばし、さらなる飛躍を目指す

グラファイトヒーターなどの基幹部品は国内工場、中級品の組立ては中国の2工場、大量生産品の組立てはフィリピン工場とすみ分けを考えています。「今後も自社ブランド商品を伸ばし、海外での売り上げに力を注いでいきたい」とグローバル企業としてさらなる飛躍を図るべく取り組んでいます。

「風通しが良い社風。挑戦マインドを持った人には活躍の場が用意されている」と千石社長。今年はおいしさと便利さを兼ね備えた新しいタイプの調理器グリル&プレートを新たに商品化予定。今後も安全・安心やおいしさを追求した自社ブランド品を1年に一つは開発していきたいとの考えです。



Happy with Aladdin Magic

自社ブランド「アラジン」商品ラインアップ

(株)帝国電機製作所

たつの市新宮町平野60番地 ☎0791-75-0411

キャンドモータポンプ(完全無漏洩^{むろうえい}ポンプ)で世界シェア4割を誇る同社。若手社員に早くから海外駐在の経験を積ませる機会を設け、グローバル企業としてさらなる発展を目指している。

- 設立(創業)／1939年
- 資本金／31億2,349万円
- 売上高／193億1,100万円(2017年3月期)
207億8,900万円(2018年3月期)
222億6,400万円(2019年3月期)
- 従業員数／311名
- 平均年齢／38.7歳

完全無漏洩ポンプで世界シェア4割

ポンプとモータを一つの器の中に缶詰のように納め、内部の液体を一滴たりとも外部に漏らさないキャンドモータポンプを独自に開発したのが1960年のこと。以来、化学メーカーを中心に採用が進み、新幹線の変圧器に使用される冷却用ポンプや電力会社の変電所のトランス等、様々な場所で使用されています。



世界各地で活躍するキャンドモータポンプが生産される新宮本社工場の外観です

現在、売上高海外比率は60%に達していますが「まだまだ開拓の余地がある」と白石邦記社長。すでに現地工場を開設している米国、中国、インドを重点的に攻略する計画で、若手社員を米国現地法人に駐在させて経験を積ませています。また、今後はIoTの活用も進め「AIも組み合わせながら振動値や電流値等のポンプの運転データからあらかじめ故障を予測するシステムも売り込んでいきたい」と話しています。

部活動をサポート、陸上部も創設

「会社の成長のカギを握るのは人材」と語気を強める白石社長。しばらく途絶えていた優良従業員表彰を復活させるなど、従業員のモチベーションを高める取り組みを進めています。部活動もその一つ。野球部、スキー部、釣り部などに加えて、2019



お客様の様々なご要望にお応えするため、新宮本社工場には最新設備が並びます

年7月には新たに陸上部を発足。「姫路城マラソンに参加している社員が多い」と知って白石社長自ら創部を発案したとのこと。ユニフォームや遠征費用等を会社が補助し、仕事のモチベーションアップにつなげています。

中田工芸(株)

豊岡市日高町江原92 ☎0796-42-1131

高級ハンガーの代名詞としてギフト市場を強化している「NAKATA HANGER」。また、中田修平社長自身、育児休業を取得するなど働きやすい環境づくりも大切にしている。



ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2019 兵庫県知事賞
成長期待企業

- 設立(創業)／1946年
- 資本金／3,000万円
- 売上高／8億5,000万円(2017年4月期)
8億6,500万円(2018年4月期)
9億 900万円(2019年4月期)
- 従業員数／65名
- 平均年齢／40.0歳

ストーリーを大切にギフト市場狙う

ハンガーづくりの工程は、ブナなどの木をカットするところから、複数の番手のサンドペーパーで磨き、塗装に至るまでの大半を手作業に頼っています。

戦後間もない1946年に木製ハンガーメーカーとして創業して以来、アパレルや百貨店などBtoB向けで成長してきましたが、2007年に東京・青山にショールーム「NAKATA HANGER」を開設して以来、こだわりのハンガーをBtoC向けにも発信しています。「いいものを造れば売れるというわけではない」と社長の中田修平氏。ギフト用でかつ「ストーリーが語れること」を主眼に置き、市場をつくってきました。その一つが「ブライダル」の引き出物向けで「福を掛ける」のコピーが評判を呼んでいます。もう一つが「人生とともに歩むハンガー」として「卒業記念」向けで売り上げを伸ばしています。



ハンガーの可能性を追求し、その魅力を全国・海外に届けています

社長自ら育児休業取得し、働きやすさ追求

海外市場の開拓にも挑んでいます。3年前、香港のテラーで行った展示即売が好評で、現在はシンガポールやマレーシアなどのほか、テラーの本場イギリスの市場開拓も進めているところです。



年齢や性別に関係なくチャンスがあり、皆が協力し合う社風です

日本らしい丁寧なものづくりで世界に挑む姿勢にひかれ志望する学生も増えているとのこと。そこで長く働いてもらえるよう、19年7月には中田社長自身、第2子の誕生を機に1カ月の育児休業を取得しました。「僕のあとに男性社員の育休取得者が続いてくれば」と考えています。

(株)西村屋

豊岡市城崎町湯島469 ☎0796-32-3535

開湯1300年を誇る城崎温泉で純日本旅館の西村屋本館と西村屋ホテル招月庭を運営する西村屋。「地域と旅館は一蓮托生」という思いのもと観光で地域を盛り上げようとしている。

- 設立(創業)／1951年
- 資本金／2,000万円
- 売上高／35億8,000万円(2016年8月期)
29億5,000万円(2017年8月期)
35億8,000万円(2018年8月期)
- 従業員数／323名
- 平均年齢／34.7歳

成長産業の一翼として地域に貢献する

まち全体が一つの旅館としておもてなしするという共存共栄の精神が浸透している城崎温泉にあって150年以上旅館・ホテル業を営んできました。城崎温泉を擁する豊岡市も人口減少が大きな課題となっている中、「日本における数少ない成長産業の一つである観光産業の一翼として、地域の人口減少の歯止めにも貢献



歴史と風格を感じさせる西村屋本館の玄関

できれば」と西村総一郎社長は語ります。2011年の社長就任以来、力を注いできたのが訪日外国人旅行客の獲得。パリに情報発信拠点を設立したほか、海外で開かれる旅行博にも積極的に参加しています。また、インバウンドに対するおもてなしを強化すべく、阪神間にも積極的に足を運んで採用に力を入れてきました。

地元に定着してもらうための投資を欠かさず

同社のサービスの特長の一つが客室で食事をしてもらう「お部屋食」。手間をかけたサービスを維持していくため、ITを活用しそれぞれの社員の休みの希望と宿泊者の予約情報とを照らし合わせて自動的にシフトを作成するシステムを導入し、働きやすい環境を整えています。また、独身寮のほか、結婚後も働けるよう家族用

社宅の整備にも力を入れています。「私が引き継いだときよりもいい状態で会社も地域も次世代に渡したい。それが私の使命だと思っています」。7代目当主として、城崎温泉の持つDNAを受け継ぎながらさらなる発展を期しています。



温泉街風景

(株)ニチリン

神戸市中央区江戸町98-1 ☎078-392-1471

自動車や二輪車で使われるホースの世界的メーカー。事業、仕組み、人の改革を進めながら経営から現場に至るまでスピードを徹底し、変化の速い時代を勝ち抜こうとしている。

- 設立(創業)／1914年
- 資本金／21億5,800万円
- 売上高／509億9,200万円(2016年12月期)
593億7,500万円(2017年12月期)
624億1,300万円(2018年12月期)
- 従業員数／408名
- 平均年齢／42.5歳

ホース・配管の世界トップメーカー

油圧で操作するブレーキやパワーステアリング用ホース、冷媒となるフロンガスを通すエアコン用ホースなどクルマの多くの箇所で同社製のホース、配管が使われています。ブレーキホースにおいては二輪車で世界の約7割、自動車では約1割のシェアを誇ります。また、シャワートイレの配管でも高いシェアを持っています。



姫路工場に建設された生産技術センター

ここ数年は、世界的な自動車市場の伸び、シャワートイレが海外市場で好調なことを受け、過去最高益を更新し続けています。同社は重要保安部品も扱っており「信頼性の高い製品をつくることが至上命題」と前田龍一社長。不具合が出ないように画像検査システムを導入するなどの取り組みで万全を期しています。

「すばしっこさ」武器に大企業と戦う

世界13カ所に生産・販売拠点を持ち、海外での販売比率が約7割を超えます。グローバルサプライヤーとして生産面で力を注ぐテーマの一つが生産性の向上です。生産技術センターを新設し、匠の技の自動化を進めます。

もう一つがダイバーシティの推進。ここ数年は新卒で外国人も採用しています。



生産技術センターで試運転中のロボット

2022年には主要部門における外国人の比率を15%、女性社員を20%まで引き上げる計画です。若手社員とのコミュニケーションも大切にし、良いアイデアがあればすぐに実行に移します。「競争相手である大企業に勝つにはすばしっこさが必要」とすべての面でスピードを大切にしています。

ヒガシマル醤油(株)

たつの市龍野町富永100-3 ☎0791-63-4567

淡口醤油(うすくちしょうゆ)の元祖として知られるヒガシマル醤油。400年を超える伝統を受け継ぎながら、常に「ヒガシマルらしさ」を追求した商品開発を行い、日本の食を豊かにしている。

- 設立(創業)/1942年
- 資本金/5億4,500万円
- 売上高/180億2,900万円(2018年12月期)
- 従業員数/374名
- 平均年齢/41.8歳

高付加価値商品で利益率も向上

素材の味を引き出す和食の名わき役として欠かせない淡口醤油。少量で料理のいしさと出汁^{だし}味を引き出すことから濃口醤油より塩分摂取量が少なくて済むことが明らかになり注目を集めています。淡口醤油以外にも「うどんスープ」「揚げずからあげ 鶏肉調味料」など業界を先取りした商品を数多く生み出してきました。



揖保川の東岸に位置するヒガシマル醤油本社工場外観

近年は安売り競争からの脱却を図り、おいしさの追求や地場産原料の活用など「ヒガシマルらしさ」を意識した高付加価値商品を次々に送り出しています。今後も、差別化された先発商品を開発し、「うすくちのやさしいおいしさ」と「安全で安心なおいしさ」を消費者に発信していきます。

国内市場でさらなる拡大目指す

お客様、取引先、地域、そして従業員に「ヒガシマルがあって良かったなあ」と心から言われる会社作りを目指す、という経営理念は戦前から引き継がれ、社風は「まじめ」と誰もが口をそろえます。若手社員にもチャンスの方が与えられ、播磨産力キを原料に使ったヒット商品「牡蠣だし醤油」は入社2年目の社員が開発したといいます。



淡口醤油1ℓバック充填ライン

食品メーカーの多くが海外へ市場を求め中、「国内の市場開拓余地はまだ大きい」と海外進出に目もくれないのも同社らしさです。「何より揖保川の伏流水でなければ出せない味だから」と龍野に根を下ろしてこれからも差別化された商品づくりを続けていきます。

プライミクス(株)

淡路市夢舞台1-38 ☎ 0799-72-0080

幅広い分野で使われる攪拌機メーカー。自動車用2次電池向けでは世界の先頭を走る。4年前に本社を移した淡路島のオフィスは伸び伸び働ける環境が整えられている。

 兵庫県立地支援企業

- 設立(創業)/1927年
- 資本金/8,019万円
- 売上高/65億7,600万円(2017年3月期)
67億7,400万円(2018年3月期)
80億 283万円(2019年3月期)
- 従業員数/243名
- 平均年齢/37.9歳

時代のニーズとらえ製品を送り出す

混ぜにくいものを混ぜたり、成分を均一に分散させるようにしたりと攪拌は様々なものを製造する上で欠かせない工程です。その中でも高速で攪拌する機械メーカーとしてトップシェアを誇り、化粧品や医薬品、食品、電子部品など幅広い分野で同社製品が使われています。



大阪湾に面した本社工場

中でも近年力を注ぐ自動車向け電池デバイス分野では顧客より多くの引合いや受注があります。2019年5月には第2工場が完成しました。自動車業界や化粧品・医薬品業界などから多く受注があり、顧客のニーズに応えられる体制も整えました。

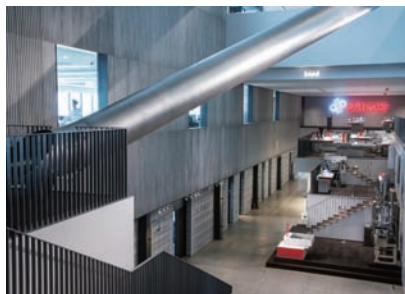
伸び伸びと働けるぜいたくな環境で

2015年に大阪市内から淡路島へ本社を移転しました。オフィスのイスは全て大阪湾を一望できるように配置され、工場内も空調管理されています。食堂は淡路島の食材を中心に栄養を考えたメニューが提供されます。

ヨガ、ゴルフ、パティシエ、養蜂等のサークル活動があり、古市社長は「私自身も自転車部で島の生活を楽しんでいる。伸び伸びと働ける環境で、新しい発想を生むための刺激を受けながら、ものづくりを楽しめる人たちにぜひ来てほしい」

と呼びかけています。

社会問題となっている「奨学金の返済」問題に対応するため、19年度より大卒者に対して国公立大学4年間の授業料相当の金額を手当として補助するなど、様々な課題を解決することに企業として取り組んでいます。



遊び心もある本社工場エントランス

フルヤ工業(株)

丹波篠山市大沢新110 ☎079-594-1111

柔らかい樹脂の成形を主に手がけ、色の異なる二つの同種材料、また2種類の材料を組み合わせる一体成形を得意としている。近年はシリコン素材との一体成形にも挑み、次なる成長を見据えている。

👑成長期待企業

👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

- 設立(創業)/1918年
- 資本金/4,500万円
- 売上高/24億5,800万円(2017年3月期)
18億7,200万円(2018年3月期)
19億5,500万円(2019年3月期)
- 従業員数/148名
- 平均年齢/38.6歳

プラスチックの一体成形技術に強み

樹脂のペレットを溶かして金型に流し込み、冷やして製品にするプラスチック射出成形加工を中心に、そこから派生した多様な樹脂の加工、それらを組み合わせる加工技術を広く扱ってきました。中でもエラストマーと呼ばれる柔らかい樹脂と、硬い樹脂を組み合わせる一体成形技術では追随を許さず、自動車、カメラ、



創業100周年を機に一新された社員食堂

衛生用品など私たちの身近な暮らしで使われる商品に数多く採用されています。

「長く続けてこれたのは代々の経営者が常に先を見据え、新しい技術の習得に挑んできたから」と降矢寿民社長。特性がまったく異なるシリコンゴムと樹脂を組み合わせる難度の高い一体成形の生産ラインを取り入れた新たな市場を開拓しようとしています。テクニカルセンターを新設し、より精度の高い技術開発に磨きを掛けています。

手厚い福利厚生で、より働きやすい会社に

創業100周年を機に社員食堂を一新しました。モダンな空間で、1食200円の負担で3種類のメニューから選ぶことができます。また、4年前には事業所内託児所を整備して、社員の半数以上を占める女性従業員の定着につながっています。



事業所内託児所の整備は、女性従業員の定着につながっている

都心から離れているため人材確保に苦労して、早くからベトナム人の採用にも力を入れ、昨年にはミャンマー人の受け入れも開始しました。毎年の社員旅行、創業記念日恒例の牛肉、赤飯、日本酒の支給など、手厚く温かい福利厚生で地元しっかりと根を生やしています。

まねき食品(株)

姫路市北条953 ☎079-224-0255

1888年の創業以来播磨の地に根付き、弁当、仕出し、レストラン、カフェなど食に関わる事業を広げてきた。近年は県外、そして海外での展開も加速し、まねきブランドを広げている。

- 設立(創業)／1944年
- 資本金／5,700万円
- 売上高／27億4,600万円(2016年8月期)
27億5,900万円(2017年8月期)
28億5,100万円(2018年8月期)
- 従業員数／352名
- 平均年齢／45歳

日本のお弁当文化をアジアに

2017年10月、台湾の台北駅構内に海外初となる駅弁の常設販売店をオープンしました。宅配でのニーズも増えており、順調な滑り出しを切っています。「お弁当はおすしなどと並ぶ日本が誇る食文化の一つ。手ごろでおいしさが詰まったお弁当文化をアジアで広げたい」と竹田典高社長。すでに台北市内中心部にうどん



まねき食品株式会社 本社

も提供する2号店をオープン。2018年11月はタイにも1号店を出店しました。

JR姫路駅などのホームや構内で展開する「えきそば」で知られていますが、主力事業は創業以来駅構内などで展開してきた弁当・仕出し製造・販売事業です。10年前には大阪の百貨店に進出、近年は東京の駅弁イベントなどにも積極的に出店し、「まねき」ブランドの向上を狙っています。また、「えきそば」販売70年を記念して、JR姫路駅在来上り店をインスタ映えする店にリニューアルしました。

若手社員からの提案も積極的に採用

弁当などのメニューは若手社員のアイデアが積極的に取り入れられています。入社4年目で品質管理部に所属する岡田美咲さんは、4年前に姫路駅前の商業施設



マネキダイニング姫路店リニューアルオープン

内にオープンした「ハイミーカフェ」のメニューとしてイチゴのあまおうを花束状にざいたくに重ねた「ブーケパフェ」を開発し、ヒット商品に育てました。「社内でもお弁当のアイデアコンテストが開かれるなど、誰でもチャレンジできる雰囲気があるのでやりがいを感じている」と話しています。

明昌機工(株)

丹波市氷上町沼148 ☎0795-82-7111

平成29年度 ひょうごオンリーワン企業
成長期待企業

真空技術、機械制御技術などに強みを持ち、国や大学の研究機関が取り組む基礎研究、最先端の医療や企業の製品開発などにつながる実験や研究を下支えする最先端機器を製造している。

- 設立(創業)/1952年
- 資本金/3,000万円
- 売上高/13億6,000万円(2019年3月期)
- 従業員数/51名
- 平均年齢/44歳

「ニホニウム」発見にも貢献

2016年11月、113番目の元素が日本人によって新たに発見され「ニホニウム」と名づけられました。この新元素の合成に成功した理化学研究所仁科加速器科学研究センターの加速器にも同社製の機器が使われています。ほかにも1km先の対象物に0.1mmの精度で放射光を導くための機器、物質を解析するために用いる

中性子ビームの整形装置、またガン治療用の陽子・重粒子のビームライン等、様々な最先端の分野で日本の科学技術の発展に貢献しています。「オーダーメイドの最先端実験装置を作るため、高度な技術力が求められる」と幹部は語ります。



本社外観

やりたいことができる風土が根付く

現在は中性子・放射光・レーザー関連装置、超高真空装置、省力化を目的とした自動機、ナノインプリンターの4分野を手がけています。中でも自社開発製品の柱として育ったのがナノインプリンター。半導体などの表面にナノ単位で自在に凹凸をつけることのできる装置で、すでに100台ほどを出荷しました。

製品は一品受注が多く、「相手のニーズをくみ取り、当社の技術でいかに形にできるか柔軟に発想できる人間を求めている。やりたいことがやれる風土があり、離職者はほとんどない」ことも誇ります。「ナノインプリンターに代表される自社製品を今後さらに開発し、付加価値をより高めて社員に還元していきたい」と思いを語ります。



第一線でダイナミックに活躍している社員たち

シェア55%以上を誇る消防車両のトップメーカー。消火、救助の機能を持つ車両だけでなく消防隊員の安全管理システムなども加えた総合防災ソリューション企業として進化を続けている。

- 設立(創業)/1907年
- 資本金/10億円
- 売上高/非公開
- 従業員数/389名
- 平均年齢/40.5歳

グループ総力で消防ソリューションを提案

1907年に日本で初めてガソリンエンジン付き消防ポンプを開発して以来、消防車のトップメーカーとして日本の消防技術発展に寄与してきました。近年は主力のはしご車に加え、ブームを使った消防車もラインナップ。また、水に消火薬剤を加え発泡させることで少量の水で高い消火性能を発揮する消防ポンプ車や、



1台ごとに異なる仕様に応じて消防車が生産されている

空気中の窒素濃度を上げることで、一切水を使用せずに消火する消防車なども開発。IoTを活用した画像情報による消火活動のサポートシステムなどと組み合わせ、グループ全体で消防のソリューションを提案しています。

2年ごとの全員研修で養われる同期の絆

2016年にはダイバーシティ推進室を設置し、新卒採用のうち40%を女性、10%を海外出身者にする目標を掲げ、イノベーションを生み出す基盤づくりを進めています。入社後は全体での研修、配属先での研修を終えた後に向こう3年間で自らが身に付けるべき職務能力の目標を決めます。3年後にどこまで達成できたかの振り返りを行い、グループ会社全役員の前で一人ひとりが成果を報告する機会



新入社員フォローアップ研修

を設けています。「各年次のグループ社員全員を集めた研修を頻繁に行っており、同期の絆が強いのが特長」と人財開発課課長の東尾薫さん。一体感を醸成する人財教育で新商品、新市場開発への挑戦を促しています。